強力なリーダーシップとトップセールスを期待する

5つの重点施策4つの中・長期ビジョン実現に全力を傾ける

令和会　香取　憲一

島田幸三市長の所信表明を受けて

Q教育振興における心の教育の充実化について

A市長　読書活動、自然体験活動等を通して、命を大切にする教育を推進し、郷土を愛する心を育みたい。

Q農業の振興について小美玉ブランドのトップセールスについて

A市長　SNSで特産品を紹介するなど、関係各所との連携を図り、しっかりと全国に情報を発信していく。

Q福祉の振興について

A市長　福祉行政の課題を整理分析し、困難な課題に迅速に対応していく。

Q地域防災の振興について

A市長　消防署の再編統合について訓練環境の整備は消防隊員のスキルアップ、警防力の強化につながり、防災拠点の重要性から十分に検討していく。

Q市役所職員の人材育成と意識改革について

A市長　行財政改革の取組意識を各階層に認識させ、個性や能力を最大限に発揮できる人材づくりを進める。

Q中・長期ビジョンを遂行していくにあたり、新市長の強力なリーダーシップとトップセールスの決意を伺う。

A市長　国県関係市町村とのビジョンの共有、思いを一つにする事が重要であり、実現への大きな推進力になると考える。TX延伸誘致活動も、官民一体となって思いを一つにし、事業の実現を目指す。

▶TX延伸誘致活動ノボリ旗

Q新市長の掲げる各施策と第2次総合計画との整合性について

A市長　現在、令和5年度から令和9年度を計画期間とする後期基本計画の策定を進めており、私の思いを存分に盛り込み、時代の変化を敏感に捉えながらまちづくりを進めていく。

4年間で進める重点政策について問う

「教育・農業・福祉・地域防災・商工観光」の振興が重要

真政会　村田　春樹

Q現在羽鳥・納場小学校、美野里中学校の校舎だけが老朽化で取り残されているが教育格差を招いていないか。

A市長　保護者や地域住民の意見を踏まえながら、教育環境の充実を図っていく。

Q先進的な就農者やもうかる農業を目指す若い就農者を支援し、収益性の高い事業を展開できる農業経営者をどう育成するか。

A市長　意欲と能力のあるものが幅広く、かつ円滑に農業に参入出来るように相談機能を充実させ、先進的な経営者の下で実践的な研修を支援し、スキルアップを図る。

Q住み慣れた地域で生涯安心して健康に暮らせ、高齢者福祉や障がい者福祉を充実させ、健康寿命を延ばす取組は。

A市長　高齢者福祉計画やおみたま健康いきいきプランなどの計画に基づき、障がいの有無にかかわらず、全てのライフステージに応じたきめ細かな健康づくり活動を推進していく。

Q消防団員の処遇改善や消防団員OBで構成される支援団員制度などの導入について伺う。

A市長　本年度から、年額報酬の増額と出動報酬を創設したところ。災害時の後方支援など活躍が期待できる本市にあった支援団員等の制度導入の検討を進める。

Q女性救命士の採用について

A市長　女性傷病者に抵抗感を与えることなく活動できるなど、女性の視点が多様なニーズに対応し、消防組織の強化につながると感じる。

Q地域の観光資源を最大限に生かしたにぎわいを創出するまちづくりをどのように進めていくのか。

A市長　茨城空港周辺を核として、市内店舗や体験型の市内周遊観光ツアーや市内観光施設を紹介するユーチューブなどのSNSを活用した観光プロモーションに取り組んでおり、地域資源の掘り起こしなどを行い、茨城空港周辺のにぎわいと魅力的な観光資源を連携させ、本市のにぎわいの創出につなげる。

市長の政治理念は「決断と実行」

谷仲　和雄　同士会

Q市長の政治理念を問う。

A市長　政治理念は「決断と実行」この政治理念の下、市民目線に立ち、市民に寄り添い、そして、誰一人取り残さないまちづくりを目指し市政運営に取り組む。

Q市長の掲げる小美玉市の新時代を築く「教育」「農業」「福祉」「地域防災」「商工観光」5つの重点施策及び構想の実現には新たな財源の確保が現実的な課題となる。施策・事業の優先順位と財源の裏付けという観点から、行財政運営の基本姿勢並びに施策・事業の推進に必要な一般財源の確保・捻出について問う。

A市長　人口減少、少子高齢化社会の進展により、これまで当然にあったものや事柄を劇的に見直す変革の時期であると考える。第4次小美玉市行財政改革大綱を着実に進め、次世代の子どもたちへの新たな負担とならないよう、市民の皆様の共通理解の下、今ある行政サービスを維持していくためにも行政を経営するという視点を持ち全庁的に行財政改革に取り組む。各施策推進のためには、一般財源の確保・捻出が重要な課題であると認識している。短期的には、スクラップ＆ビルドを徹底するとともに経常経費を抑えながら、ふるさと納税の更なる拡充や企業版ふるさと納税の推進など、新たな一般財源を発掘する。中長期的には、計画に基づく公共施設の維持管理コストの削減や先進技術導入による行政コストの削減を図るとともに、企業誘致や移住・定住を推進し、市税収入を増やすことにより一般財源の確保・捻出を図る。

民生委員児童委員連合協議会と意見交換会を開催

民生委員児童委員連合協議会（長島洋治会長）主催による文教福祉常任委員との意見交換会を行いました。民生委員児童委員から、さまざまな事例や報告を受けました。

民生委員児童委員とは

地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。

自らも地域の一員として、担当の区域においてひとり暮らし高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子供たちへの声掛けなどを行っています。健康や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなどさまざまな相談に応じます。

民生委員児童委員には、法に基づく守秘義務があり、相談内容の秘密は守られます。